

統計メールニュース No.1613(2023.12.15)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

【本日の公表データ】

■2023年(令和5年)科学技術研究調査結果

≪研究費≫

○2022年度の科学技術研究費(以下「研究費」という。)は、20兆7040億円(対前年度比4.9%増)で、2年連続で増加し、過去最高

○国内総生産(GDP)に対する研究費の比率は、3.65%と前年度に比べ0.09ポイント上昇

○政府が戦略的に取り組むべき基盤技術として位置付けられている特定目的3分野に使用した2022年度の研究費は、AIに2725億円(対前年度比56.3%増)、バイオテクノロジーに3850億円(同55.1%増)、量子技術に1322億円(同13.2%増)で、前年度と比較するとAIとバイオテクノロジーの増加が大きい

≪研究者数≫

○2023年3月31日現在の研究者数は、91万400人(対前年度比0.2%増)で、7年連続で増加し、過去最多

○研究者1人当たりの研究費は、2274万円(対前年度比4.6%増)で、2年連続の増加

○女性研究者数(実数)は、18万3300人(対前年度比4.5%増)で過去最多、研究者全体に占める割合は18.3%(前年度に比べ0.4ポイント上昇)と過去最高

<https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「変化が見える、暮らしに役立つ 統計調査」(統計調査紹介ムービー)

<https://youtu.be/XKZ9hUrEyBo>

□「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中!

令和6年1月16日(火)に開講するデータサイエンス・オンライン講座の受講者を募集中です。誰でも無料で学ぶことができます。

社会人・大学生に統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説する講座です。是非、御活用ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関するQ&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp